

会議結果報告書

1 会議の名称

令和2年度第2回光市健康づくり推進計画市民協議会

2 開催日時

令和2年12月24日（木）13時30分から

3 開催場所

光市総合福祉センター あいぱーく光 いきいきホール

4 出席人数

委員23名中17名出席、事務局7名出席

5 公開・非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長あいさつ（省略）

（3）議事

ア 光市健康づくり推進計画中間評価報告書（案）について

【事務局説明】

事務局から資料に基づいて、前回協議会提示内容から、変更・追加した部分（資料下線部）を中心に説明

【質疑・意見等】

（委員）

資料6ページ（3）診療状況の円グラフについて、平成25年度と令和元年度で比べており、そこで、悪性新生物が増えているが、精神疾患はどちらも18%である。分母の数が違ったら実際はすごく違うと思

うので、平成25年度と令和元年度それぞれの、グラフを出す分母となる人数を教えてください。

(事務局)

この円グラフは医療費の割合を示しており、人数ではなく全体の医療費からそれぞれの疾病の費用を算出した金額になる。

(委員)

令和元年度のグラフでは、平成25年度にあった脳梗塞や慢性腎不全の割合が無いが、その他に吸収されたということか。

(事務局)

脳梗塞や慢性腎不全が減り、その他に吸収された。

(委員)

資料62ページ「ゆったり to リラックス事業」はどのような事をする予定か。

(事務局)

来年度から5年かけて状況を見ながら行っていく。内容は、現時点での案だが、光市の自然の中でヨガの動画を撮り、市民が家で動画を見ながら行えるようにしたいと考えている。

(委員)

来年に向けて実現可能な案を検討していただきたい。

(委員)

資料10ページ、4 こころの健康(2) うつ病の診療状況で、64歳までしかないのはいかがか。

(事務局)

11ページグラフに続いており、そちらには70～74歳まで載せている。出典に記載のKDBという国民健康保険のデータベースからの資料で、国保に該当する人のため74歳までの資料となる。

(委員)

資料56ページ、3 指標の達成状況で、分野ごとの指標数と、項目数、具体的にどういうことを示すのか。

(事務局)

計画書 25 ページに、健康指標として①健康寿命、②健康寿命の周知度、③普段から健康に心がけている人の割合、この 3 つ指標があり、これが指標数となる。①健康寿命という指標に、男性と女性の 2 つを 2 項目として、全部で 4 項目となる。同じように個別指標についても、例えば計画書 37 ページに、個別指標として①～⑦の 7 つの項目があるので指標数は 7、③喫煙に興味がある生徒の割合は中学生、高校生で 1 項目、次の④「自分は健康（元気）だ」と思う児童生徒の割合は小学生・中学生・高校生とそれぞれに異なる数値の割合があるので、1 つの指標に 3 項目として数を計上している。

（委員）

資料 15 ページ、新型コロナウイルス感染症について、もし感染した場合にはどうしたらよいか。どこへ相談したらよいか。かかりつけ医がいない場合などどうしたらよいか分からない。4 月頃以降発生していなかったが、最近、光市にコロナ陽性者が出てきているので、市の対応の現状を聞きたい。身体障害者が罹った場合、都会では介護タクシーが防護服を着て来てくれるところもあると聞くが、光市での対応を聞きたい。

（事務局）

感染したかもしれないなどご心配な場合、かかりつけ医がいれば、まずはかかりつけ医へ電話をする。かかりつけ医がいないなど、どこの病院にかかればよいか迷う場合には健康増進課へ電話をする。また、県でも受診相談センターを 24 時間開設しており、この電話番号はホームページや先日 11 月 25 日発行の広報 12 月号で全戸配布、チラシを入れている。そちらへの電話相談も可能である。市の現状については年末年始を迎え特別相談窓口を設置して相談対応する。実際、感染についての検査や、陽性になった場合の入院の仕方、移動に関する交通手段などは、県の保健所から指示があるのでそれに従うようになる。

（委員）

検査結果により保健所の指示に従うこと、受診の際は突然来院するのではなくまず事前に電話で相談すること、発熱や疑いがある時は正

直に連絡いただけると支援の体制ができるので、必ず事前に電話してからの受診をお願いしたい。

イ 今後の計画推進に向けて

【事務局説明（概要）】

中間評価報告書(案)をふまえて、皆様所属組織・団体での各立場から、今後の推進に向けての取組み、関係機関との連携という視点を含めて、今後の計画推進に向けて取り組みたいことなど、前向きなご意見をいただきたい。

【意見交換】

(委員)

子どもの食に対する関心を深めるのはどうしたらいいのか考えていきたい。

(委員)

今年はコロナで行事ができず、高齢者は閉じこもりがちになる。うつ病と認知症の境が少しわかりにくい。来年度は、皆が外に出られるように元気で助け合いたい。また、食が一番大事と思う。

(委員)

行事がコロナで中止や延期となった。今回、新しい項目としてコロナが付記されたのは有り難い。資料63ページ、施策の展開例で基本目標Ⅰ～Ⅲがあるが、コロナが終息したら項目に従って各年代に進めていきたい。コロナの終息を第一に願っている。

(委員)

コロナで行事が中止となっている。今後、高齢者に食事指導する計画がある。コロナ終息を願いつつ、感染症対策についても相談しながら実施できると良い。この計画も市内に広まるとよい。以前は緊張感があったが、最近テレビで危機感の無い人を観た。頻繁に伝えることが必要と感じた。

(委員)

各地区での健康教室を計画しているが、ほとんど実施できていない。コロナ対策をして、少人数で実施している所もある。学校では箸

の持ち方やお茶碗の持ち方などマナーについて、子どもと話す機会も減っている。高齢者はサロンでの体操などを行っている。一人にしないように、みんなで一緒に楽しく健康づくりをすすめていきたい。

(委員)

健康づくり、食事、運動、こころの健康など、コロナで制限されている状況でも変わらない事がある。自分の健康づくりは自らが取り組まなければならない。計画の「あなたが主役」がぴったりと思う。市民一人ひとりに届きにくく浸透していかないことが残念。一人一人の自覚が大事。産後うつ予防、虫歯予防に取り組んでいる。今後、出生率が低くなるのではないかとということも心配している。

(委員)

資料8～9ページに示すように、運動に関して児童生徒の体力が上がっている。成人の運動習慣も増えている。これを一層進めていただきたい。資料16ページ、ウォーキングラリーについて年々登録者数が増えている。関係部署が連携してより増えるとよい。以前、新聞記事に掲載されていたが、スポーツ庁の体力運動能力調査によると65歳以上の高齢者世代で6分間歩行距離や握力が過去最高だった。児童生徒から高齢者まで全世代で健康増進に努めていけるとよい。

(委員)

資料12ページ、栄養・食生活について、アンケート調査は1日3回食することができない人も対象か。アンケートに出てこない部分、例えば、金銭的な支援、子ども食堂のような支援は市内であるのか。

(事務局)

アンケート調査は、児童生徒全体を対象としているので、全部含めた結果の数値である。子ども食堂は、子ども家庭課が所管で市内にも数か所ある。子ども食堂の目的は金銭的な問題だけでなく、孤食といった家庭環境など色々な背景のある児を対象として実施していることがある。

(委員)

安心安全な食生活を送れるよう皆で取り組んでいる。生活リズムを

整え、食事が楽しいものと位置づけられる取組みをしてほしい。

(委員)

子どもの体力面では、学校が再開されて体育の授業など人数制限など認識しながら通常に近い形で行っているが、今年の夏は水泳指導をしておらず川などでの水の事故が怖い夏でもあった。来年は水泳に関わる体力低下が予想される。また、今年は通常の運動会が出来なかった。しかし、健康づくりの面では、コロナ禍で自分の体に対する意識が高まり、手洗いや消毒にも努めている。隣との席を離し、給食時間は無言で前を向いて食べるため、楽しい給食ができていない状況。

(委員)

保育園では食を通した健康づくりをしている。食育の日を設け、栄養バランスのよい食事や、栄養素の役割など教材を使って子どもたちに分かりやすく伝えている。無言で食べるよう言っているので、楽しい食事につながっていないことは考えるところ。食を通して感謝の気持ちを持ち、大切に食べるよう教えている。一方で家庭でも仕事で帰宅が遅くなるとその後の生活時間も遅くなる。生活リズムが乱れるが現代の生活では仕方無い部分もある。しかし、スマホゲームで切り替えができない子もいる。早寝早起き朝ごはんは健康の基本になると実感している。保育園ではスキップが大事、その分手洗いや消毒をしている。先日、募金箱に関して子ども発信で大人を巻き込む良い事例があった。健康づくりにも活かしたい。

(委員)

食育の大切さを改めて感じている。朝食を食べていない子どもの現状、運動の大切さとともに自分の体に関心を持つこと、歯磨き指導を通してなど、自分の体・健康づくりに興味関心を持たせていきたい。

(委員)

コロナの影響で、学校行事の中止など、大勢でコミュニケーションをとること、何かをすることがこの1年出来ていない。先生方もPTAとしても苦勞している。今後、運動部分が低下してくることが考えられる。ウィズコロナの生活をどのように過ごすか。子どもが朝食を摂

れていないのは親が摂らない、指導していないと考えられる。家庭からしっかり朝食を摂ることに取り組むことが大事。PTAでも発信していきたい。

(委員)

計画の推進・目標の達成に向けて一市民としてささやかだがずっと続けていきたい。光市の取組みや現状について、市広報などで時々教えて欲しい。

(委員)

皆さんのご意見を聞くことができた。

(委員)

資料53ページ、「家で、一人で食事をすることがありますか」というアンケート調査の結果、成人の7.6%、人口52,000人から計算すると4,000人近くが人と食事をしていないことは気になる。食のマナーも問題として挙がっている。子どもは親がすることをよく見ているので、子どもよりは大人の問題といえる。マナーについては大人も含めて考えた方がよいと思う。

(委員)

前回の協議会の報告を所属の会で行った。かかりつけ医を上手に使っていただきたい。こちらからも情報発信が必要。公民館など病院以外に健康の旗振りとして参加するなど。健康増進課の出前講座に医師が出向くことも将来的に考えている。

ウ その他

【事務局説明】

今後について、本日の意見をふまえて、中間評価報告書を最終的にまとめ、庁内関係各課等へ再度確認を依頼し、その後、3月に報告書の完成を予定。次回の本協議会について、令和3年度7月以降の開催を予定。

(4) 閉会

7 問い合わせ先

光市福祉保健部健康増進課